

第5回中四国 MISt 研究会 報告

先日3月12日に、第5回中四国 MISt 研究会が無事に終了致しましたことをご報告させていただきます。

今回は「ナースも MISt」というテーマで、看護師/コメディカル中心の会にいたしました。参加総数126名（看護師/コメディカルが28施設79名、医師47名）と、中四国 MISt 研究会過去最大でした。

特別講演には佐藤 公治先生、関上 彩看護師にご講演を賜りました。特に、関上さんは、オペナースの視線からのビデオを新たに作成され、手術室での患者入室前からの準備、患者入室後、術中といった関上さん（オペナース）の動きが分かりやすく見られ、参加した看護師さんから大変好評でした。

ビデオセッションでは、いろいろな疾患のエキスパートの先生に、看護師さんに分かりやすく、手術ビデオを流しながら説明していただきました。札幌医大の救命センターの入船先生と神戸赤十字病院の菊池先生より外傷の MISt、慈恵第三病院の篠原先生より meta などの MIS-long 手術、そして JA 広島総合病院の山田先生には BKP の手術をお願いしました。

そして目玉であるハンズオンですが、今回は新たな取り組みとして、DePuy, Medtronic, Alphatec, 京セラの4つのメーカーにそれぞれに1部屋小部屋を与え、講師の選択から、講義の仕方、ハンズオンのやり方など、各社主導にてお任せしてみました。すると、各メーカーは全国から講師の先生を集め、綿密な連携をとって趣向を凝らし、いろいろな方法でハンズオンの指導を行っていただきました。講師の先生やメーカーの方々の熱意が伝わり、参加者もすごく熱心に取り組んでいました。

最後に、ハンズオン終了書と記念品をお渡しして、会を終了いたしました。

アンケートでの満足度は、全体が平均85%、ハンズオンが平均90.9%でした。

私は5年前に、コメディカルの教育、チーム医療の大切さを実感し、脊椎「ナースコース」を立ち上げました。最初の年は手探り状態でどうしたら良いのかも分からず、東日本大震災直後の福島県に手術室看護師を連れてラボでセミナーを開催しました。そこから5年間、これまで様々な病院の手術室看護師の教育を行ってまいりました。今回の研究会は、その

方向性が間違っていなかったことが実感でき、そしてこの 5 年間の集大成とも会になったと言えるのではないのでしょうか。

これもひとえに今回のセミナーの主旨に賛同していただき全国より駆けつけてくれた講師の先生方、ご協力いただいたメーカーの方々、そして細かな心遣いをいただいた旭化成の方々のおかげであります。この場を借りて深謝いたします。

会長の不手際で至らぬ点多々あったかと存じますが、何卒お許し下さい。

次の中四国 MISt 研究会は、徳島市民病院の千川隆志先生が会長で、来年開催される予定です。

引き続き中四国 MISt を盛り上げるべく精進していく次第です。
このたびは本当にありがとうございました。

第 5 回中四国 MISt 研究会会長

川崎医科大学

中西一夫

